

素材革命が拓く総合フィルタメーカーの未来像

ヤマシンフィルタ株式会社
2018年3月期 事業説明会

東証一部

6240

2018年6月27日

I

事業環境

市場環境は想定通り堅調。本業となる油圧フィルタ事業に死角なし

P2

II

2019年通期計画

企業価値向上の取り組みおよび通期業績予想と株主還元

P8

III

当社の中期的な方針

事業ポートフォリオの拡大と筋肉質な企業体質への進化

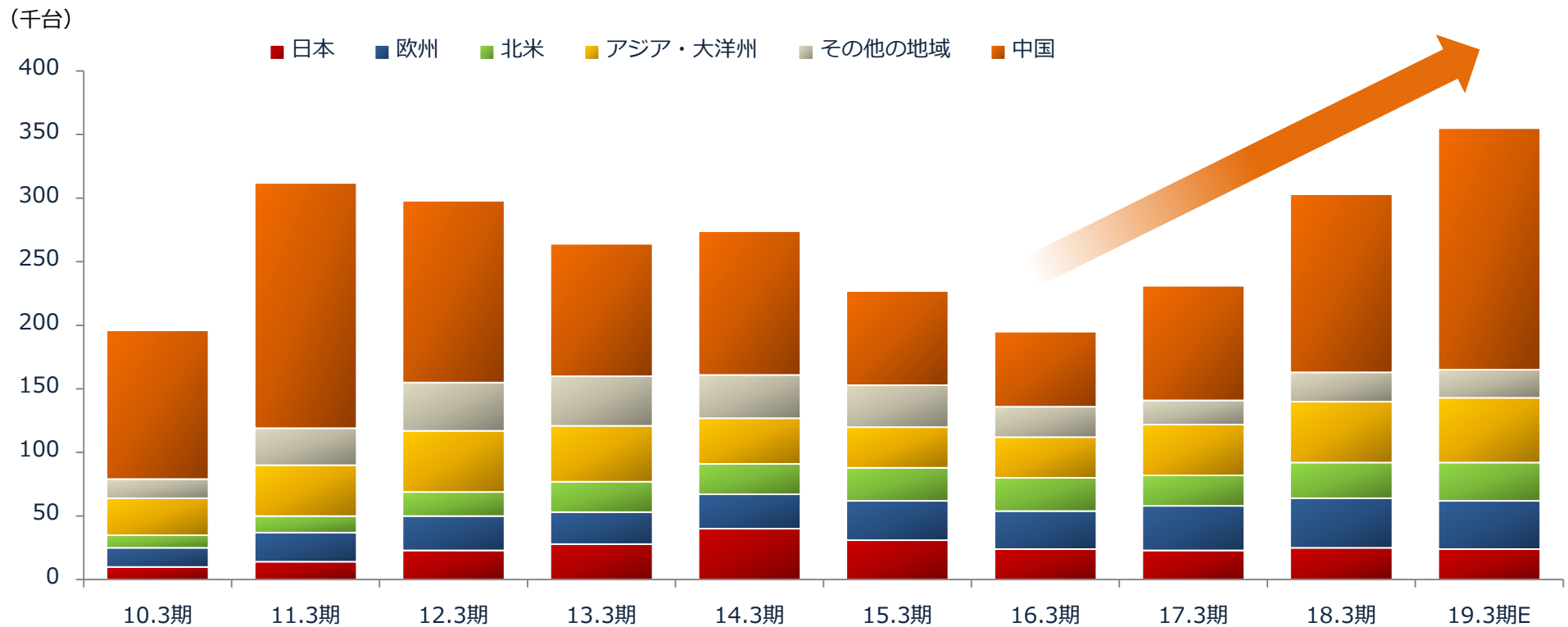
P16

I 事業環境

市場環境は想定通り堅調。本業となる油圧フィルタ事業に死角なし

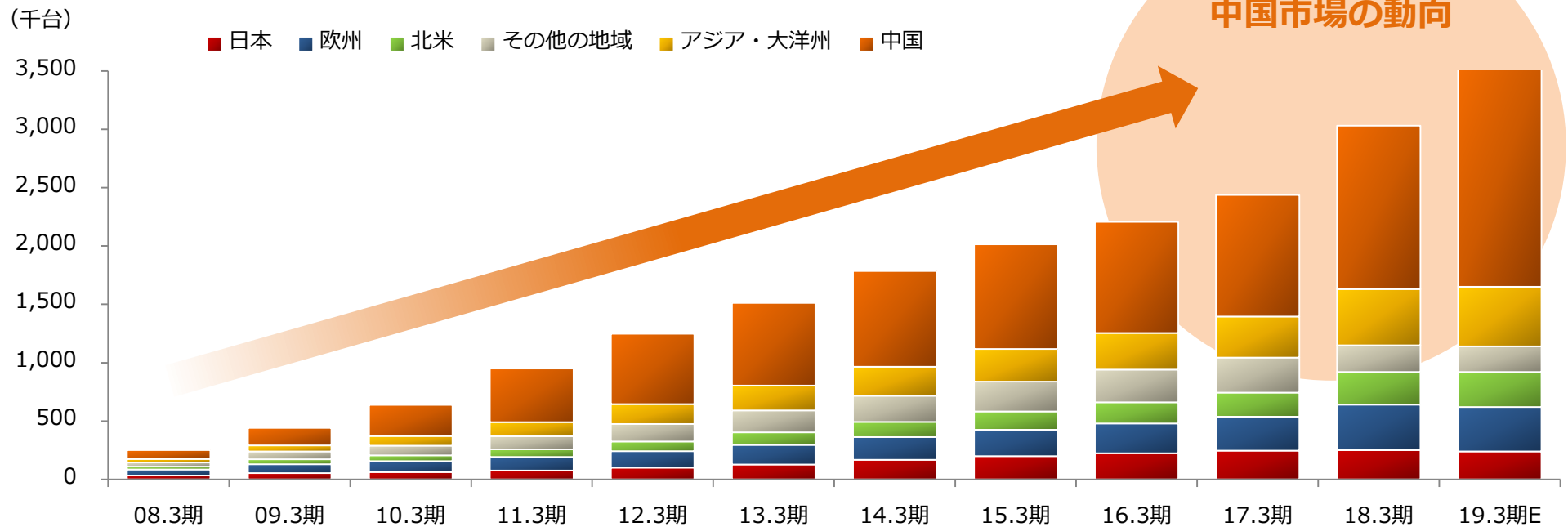
	過去	現状	今後の見通し
中国	不動産投資鈍化により 大幅な減産	公共投資による景気下支えのため 需要は大幅に増加	「一帯一路」政策の下、 継続した需要増加を見込む
北米	エネルギー関連投資の 低迷を受け減産	インフラ投資により 需要回復	資源エネルギー開発・インフラ投資の 進行のなか、更なる需要増を見込む
日本	排ガス規制 駆け込み需要の反動	堅調な国内インフラ投資により 需要増加	堅調な国内インフラ投資を背景に 需要増を見込む
欧州	軟調に推移	ドイツをはじめとした 主要国の需要増加	引き続き堅調な需要を見込む

建機市場は、インフラ整備の投資拡大により 持続的な成長が見込まれる



(各建機メーカーおよび工業会公表データより当社推計)

「一帯一路」政策の下、中国を牽引役とし アジア市場の成長が活発化

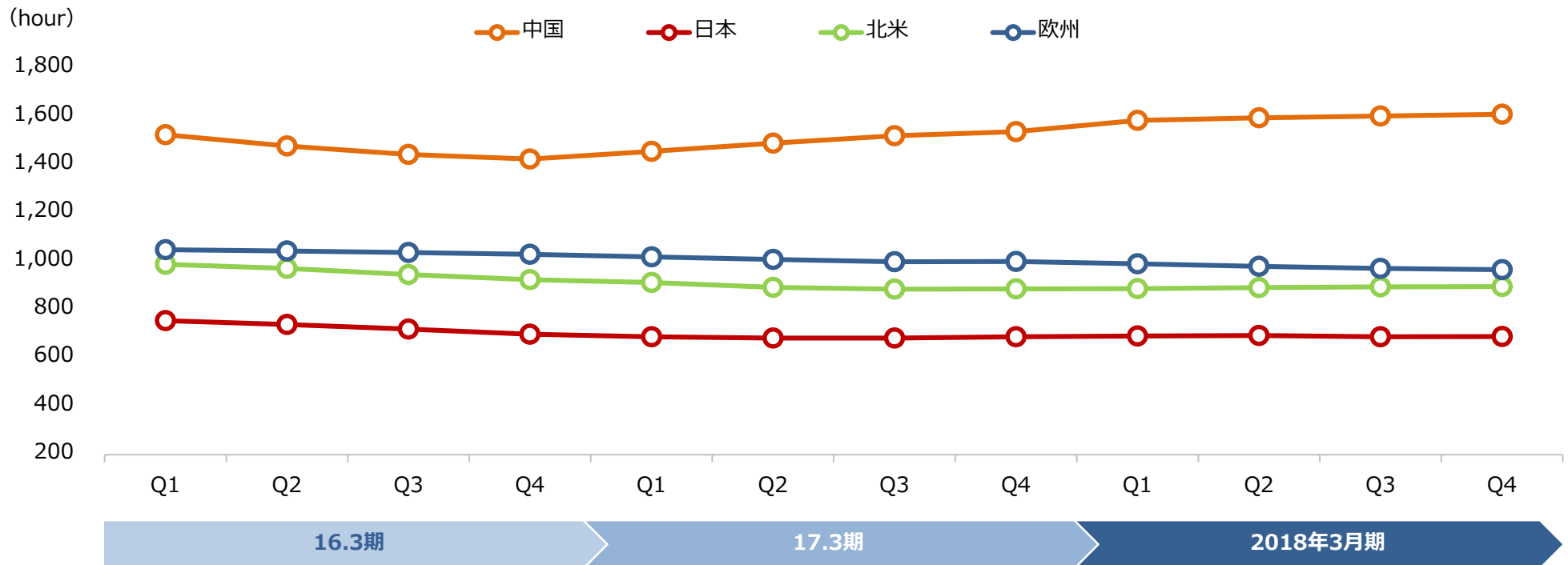


中国
4兆元の財政出動

中国
2兆元の財政出動

「一帯一路」に絡むインフラ投資の拡大が 建機需要を改めて喚起する見通し

建機1台あたり稼働時間推移（年計）

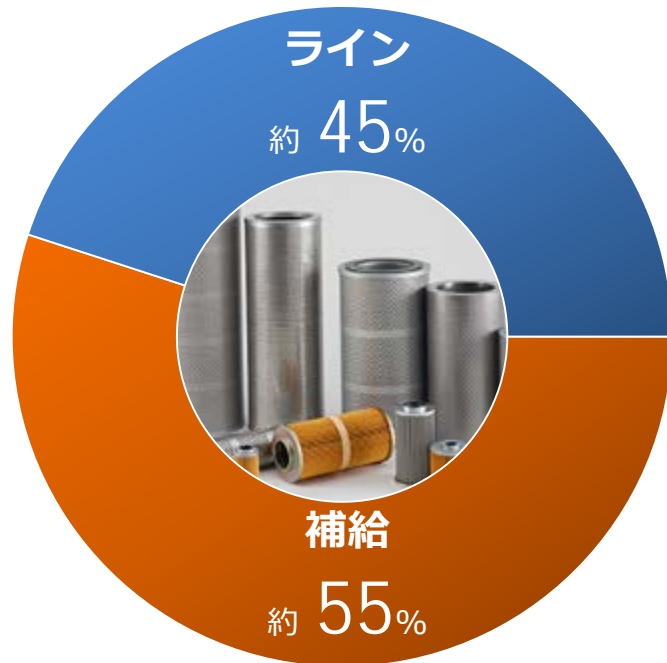


出所：野村証券アナリストレポートをもとに当社作成

補給はストックモデル

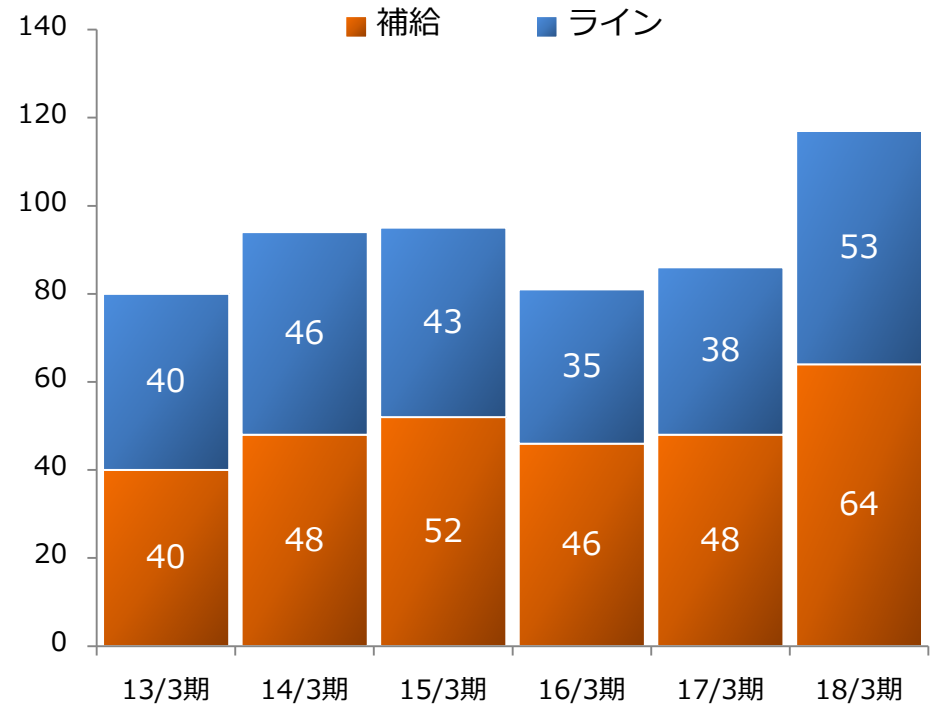
建機の稼働台数の蓄積により、安定した需要拡大が見込める

18.3期 建機用フィルタ 売上構成



補給・ラインの売上高推移

(単位：億円)





II

2019年3月期通期計画

企業価値向上の取り組みおよび通期業績予想と株主還元

管理部門にとどまらず、現場にまで 企業価値向上の目標数値を落とし込む

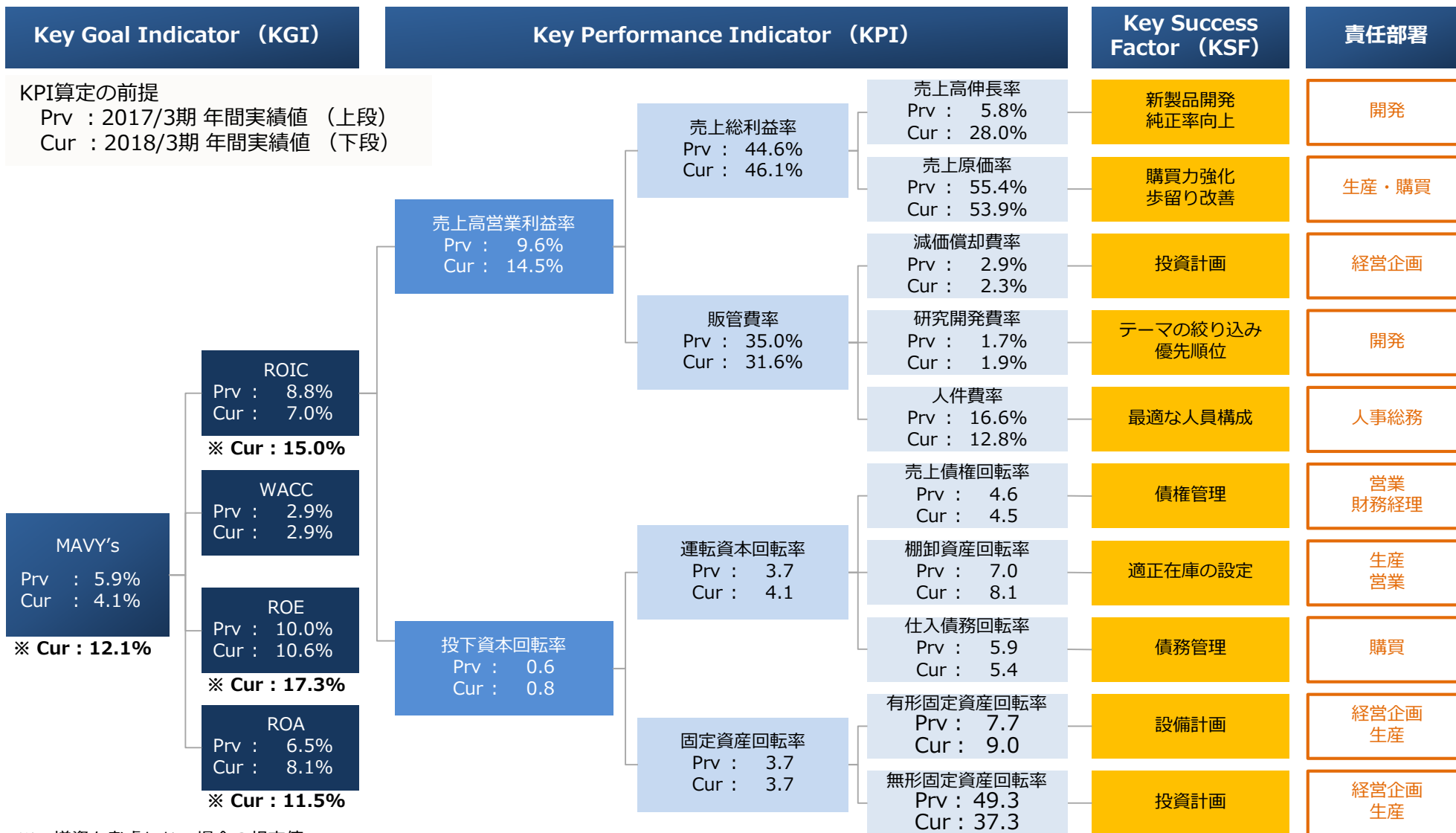
MAVY'Sとは (ROIC - WACC)

Maximizing
Added
Value of
Yamashin Filter
Spread

投下資本の利潤最大化を目指し、
各責任部署が (KPI) を設定し
業務に取り組む (KSF) ための
最重要指標 (KGI)

MAVY's
スプレッド拡大により
ステークホルダーの期待に応える

各指標に対して、担当部署を
割り振り、各KPIを設定して
目標達成に向けた業務運営を
全社にて行う

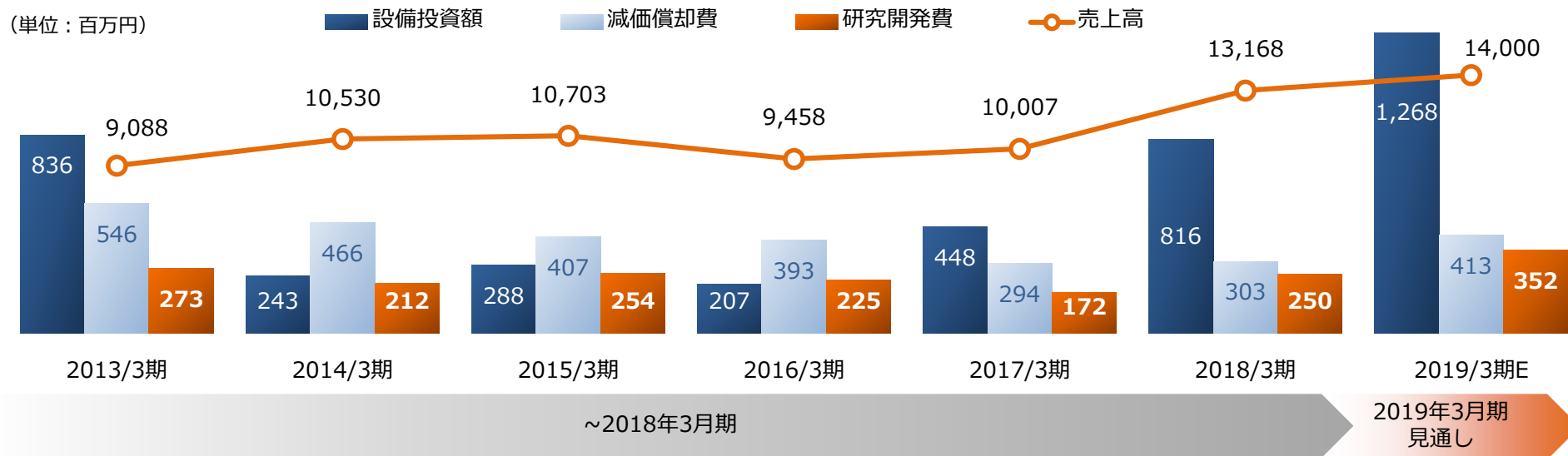


- 各国の堅調なインフラ投資継続により、増収見込み
- 全社プロジェクト「PAC18」による原価削減実施により、増益見込み

	2017/3期 実績	2018/3期 実績	2019/3期 見通し	19/3期見通し 対 18/3期実績比
	金額	金額	金額	%
(単位：百万円)				
売上高	10,007	13,168	14,000	6.3%
売上総利益	4,463	6,074	6,740	11.0%
売上総利益率	44.6%	46.1%	48.1%	2.0P
販売管理費	3,505	4,163	4,390	5.4%
販管比率	35.0%	31.6%	31.4%	△0.3P
営業利益	957	1,910	2,350	23.0%
営業利益率	9.6%	14.5%	16.8%	2.3P
経常利益	934	1,824	2,340	28.3%
経常利益率	9.3%	13.9%	16.7%	2.9P
当期純利益	640	1,249	1,600	28.0%
純利益率	6.4%	9.5%	11.4%	1.9P
為替レート AR USD	108.4	110.9	110.0	△0.8%
EUR	118.8	129.7	135.0	4.1%

(単位：百万円)	2013/3期	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	通期見通し
売上高	9,088	10,530	10,703	9,458	10,007	13,168	14,000
設備投資額	836	243	288	207	448	816	1,268
構成比%)	9.2%	2.3%	2.7%	2.2%	4.5%	6.2%	9.1%
減価償却費	546	466	407	393	294	303	413
構成比%)	6.0%	4.4%	3.8%	4.2%	2.9%	2.3%	3.0%
研究開発費	273	212	254	225	172	250	352
構成比%)	3.0%	2.0%	2.4%	2.4%	1.7%	1.9%	2.5%

売上高及び設備投資・減価償却費の年度推移



	2018/3期 実績			2019/3期 見通し			増減		
	数量 (千本)	金額 (百万円)	構成比 (%)	数量 (千本)	金額 (百万円)	構成比 (%)	数量 (千本)	金額 (百万円)	増減率 (%)
建機用フィルタ	5,885	11,768	89.4%	6,187	12,564	89.7%	301	795	6.8%
ライン品	2,545	5,342	40.6%	2,646	5,567	39.8%	100	224	4.2%
補給品	3,339	6,425	48.8%	3,541	6,996	50.0%	201	571	8.9%
産業用フィルタ	214	526	4.0%	256	537	3.8%	41	10	2.0%
プロセス用フィルタ	271	873	6.6%	284	898	6.5%	12	25	2.9%
売上高合計	6,372	13,168	100.0%	6,728	14,000	100.0%	355	831	6.3%

	2018/3期 実績			2019/3期 見通し			増減		
	数量 (千本)	金額 (百万円)	構成比 (%)	数量 (千本)	金額 (百万円)	構成比 (%)	数量 (千本)	金額 (百万円)	増減率 (%)
国内	3,306	6,443	48.9%	3,427	6,545	46.8%	120	101	1.6%
北米	1,016	2,201	16.7%	1,117	2,468	17.6%	101	267	12.1%
中国	807	1,753	13.3%	861	2,149	15.4%	54	396	22.6%
アジア	713	1,522	11.6%	818	1,771	12.7%	104	248	16.3%
欧州	502	1,204	9.2%	501	1,064	7.5%	△ 0	△ 139	△11.6%
その他（中東他）	26	42	0.3%	1	0	0.0%	△ 24	△ 42	△100.0%
売上高合計	6,372	13,168	100.0%	6,728	14,000	100.0%	355	831	6.3%

(注) 当社の請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と差異が出ます

中間配当7円、期末配当11円の年間18円に増配（分割前基準）

		17.3期	18.3期	19.3期E
1株当たり 配当金	分割前基準	12円	(18円) ※1	(25円) ※2
	分割後基準	—	— ※1	5円
DOE		2.3%	1.9%	1.9%
総還元性向 ※3		25.6%	21.6%	23.8%

※1 2017年12月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施しており、2018年3月期の配当金額は、株式分割前の金額で記載しております。（期末配当11円 分割後2.2円）

※2 2019年3月期の配当予想額について、参考値として、上記株式分割前の金額を記載しております

※3 総還元性向 = (配当総額 + 自己株式取得 + 株主優待) ÷ 当期純利益

III 当社の中期的な方針

事業ポートフォリオの拡大と筋肉質な企業体質への進化

「屋根を直すとしたら、よく晴れた日に限る」 (J.F.ケネディ)

“The time to repair the roof is when the sun is shining”

63期売上高
前年比

30% ↑

63期営業利益
前年比

2倍 ↑

好調なときこそ
次のステージへの準備を確実に

建機市場は今後3～5年間は堅調推移 100億円の資金を元手に目標達成に向け積極的に挑戦

事業ポートフォリオの拡大

建機向け油圧フィルタに依存しない
次の成長の柱を育てていく

【3本の柱】

建機フィルタ ✂ プロセス・産業フィルタ ✂ 新素材の展開

筋肉質な企業体質の構築

Multipleな生産体制構築
グローバル・サプライチェーン再構築

PAC18によるコスト低減
R&D拠点向けの大型投資計画
主要マーケットでの生産拠点開設投資

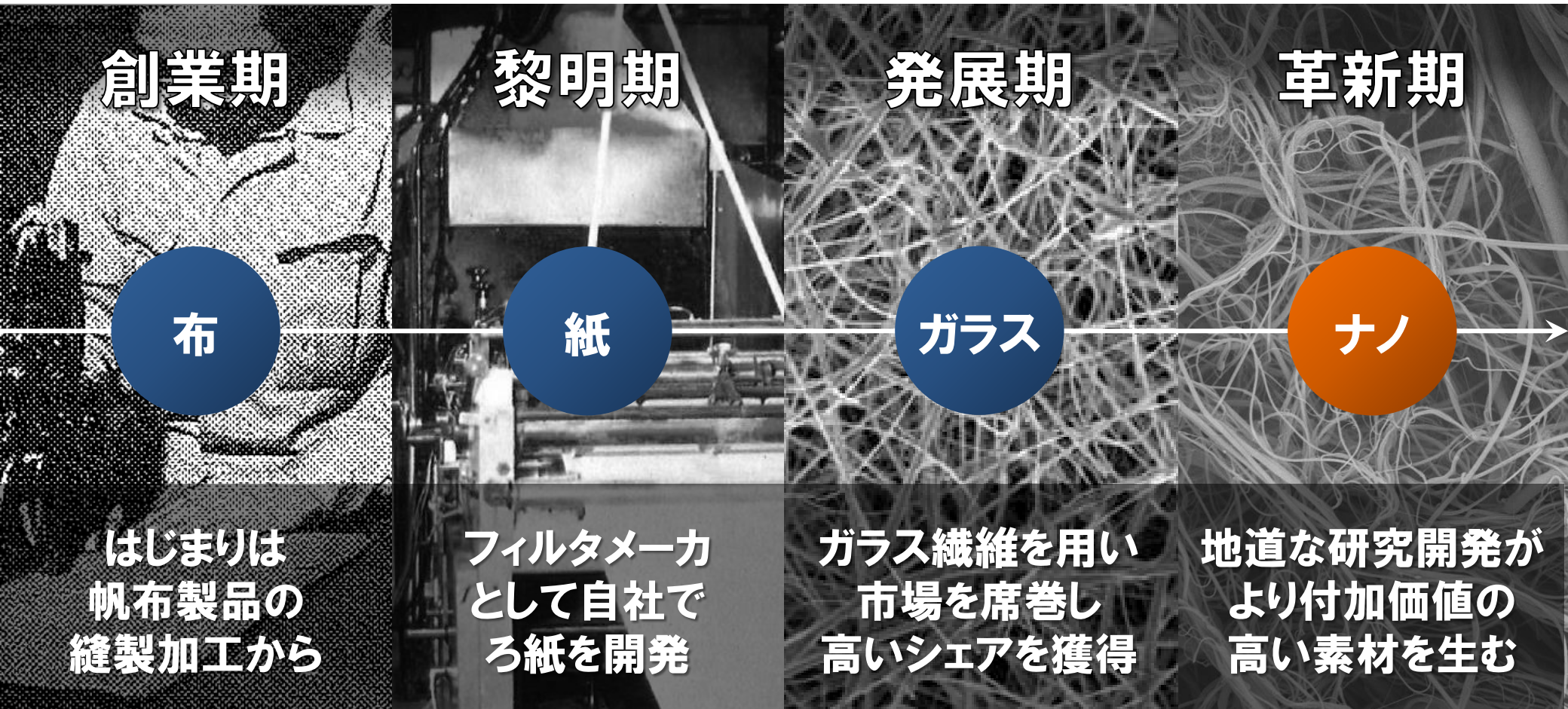
建設機械の進化を支え続けてきた「提案力」と「設計力」

60年の実績	建機用フィルタメーカーとして60年の実績を有し、建機メーカーとともに性能・品質向上に邁進
油圧フィルタの必要性の高まり	油圧の飛躍的な能力向上。一方、高圧化する油圧内部でも正常にろ過するフィルタが必要に
ガラス繊維／ろ材の開発	それまでは紙が当たり前だったろ材に代わるガラス繊維ろ材を開発。飛躍のきっかけとなった
革新の連鎖	現在も、建設機械の課題に常に立ち向かい、フロントランナーとして新たな課題に挑んでいる



事業ポートフォリオの拡大

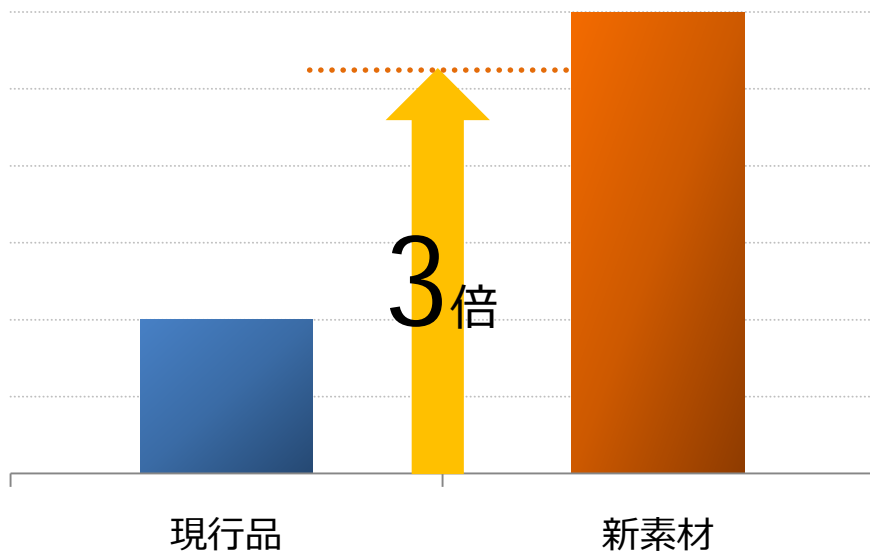
素材にこだわるDNAが新たな素材革命を起こした



素材革命が起こすコアビジネスへの福音

製品稼働時間の比較

約3倍の稼働時間を実現※



※当社現行素材を用いた製品と新素材を用いた場合の比較

新素材により期待される効果

製品単価
の向上

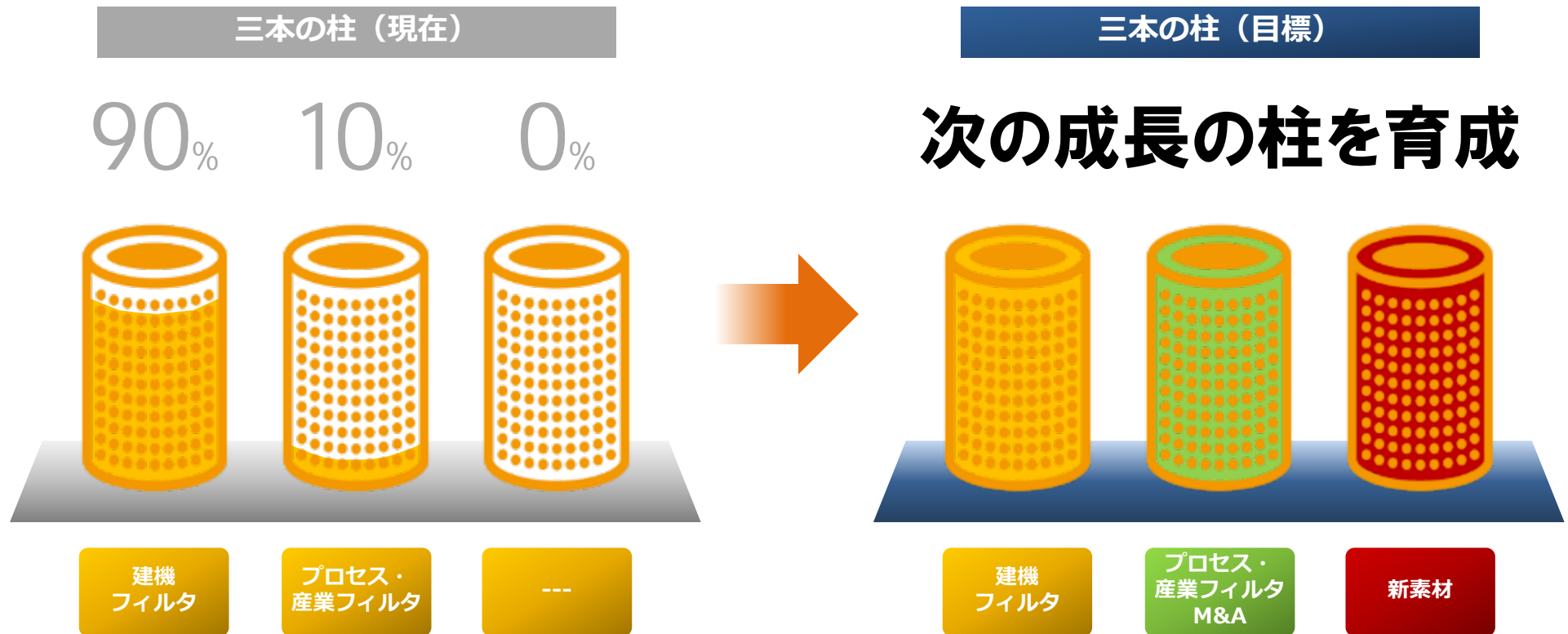
模倣品
の駆逐

原価率低減
による
利益率向上

補給品収益
の安定性向上

さらなる市場シェアの拡大

- 現在の売上高は建機向けフィルタが9割を占める
- 業績が好調な今こそ、次の成長の柱を育てていく



当社が目指す「総合フィルタメーカー」 - Yamashin Paradigm Shift

これまでの常識

これからの常識

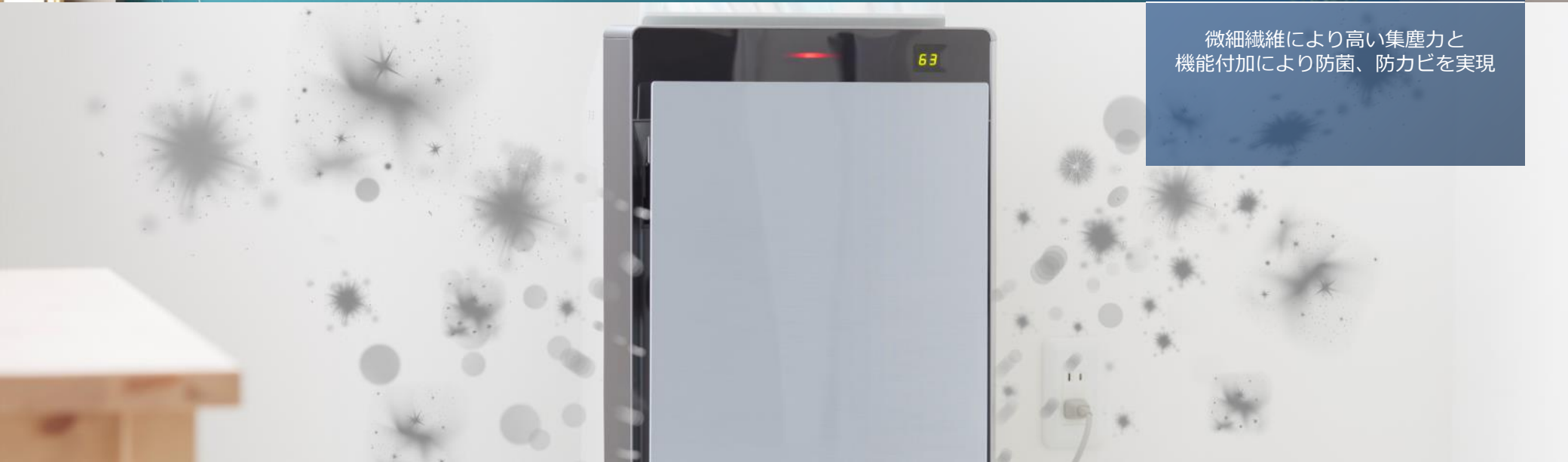




エアフィルタ

Air filter

微細繊維により高い集塵力と
機能付加により防菌、防カビを実現





アパレル

Apparel

極細繊維により高密度で
遮熱性の高い機能素材を実現



農業

Agriculture

素材の持つ自由度の高さを活かして
薄くて断熱性の高いシートの作成が
可能に

防音材

Soundproof

遮音・断熱・不燃特性を活かし、
コンパクトで軽量の航空機や
船舶を実現

ICTとさまざまな産業のIoT化を支える

労働人口の減少によって、よりスマートで、生産性の高い環境の整備が求められています
いつでも、どこにいても、リアルタイムで装置の状況を把握できる
ヤマシンフィルタはその機能を通じて、あらゆる産業におけるIoT化やスマートファクトリーの実現を支えています



製鉄所



建設機械



製紙工場



発電所



風力・水力発電



工作機械



航空機

- 油圧作動油・潤滑油の清浄度センサ
- 今後、新素材を基にしたアプリケーションの開発に取り組んでいく
- 次世代搭載を検討、実機試験スタート



油圧・潤滑装置清浄度センサ

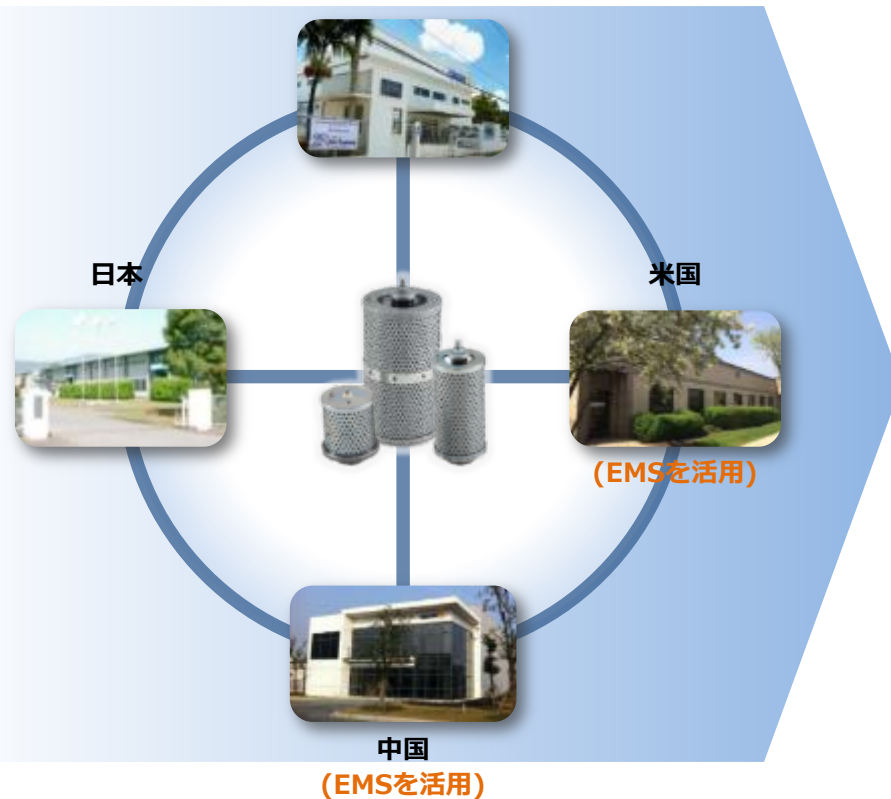
SWIFTROCK™

筋肉質な企業体質の構築

- 生産拠点の見直し・再編により、Multiple な生産体制の構築を実施
- 購買力を強化し、グローバル・サプライチェーンの再構築を実施

Multiple ソーシング

フィリピン



目的・GOAL



● サプライヤとの関係を強化

評価項目
(納期達成率、品質の高さ等)
に基づくサプライヤの
整理・統合・選別・集中



優良サプライヤとの
関係構築



Win-Win
原価低減・収益性の改善

● SAP活用：標準原価制度導入により原価改善実施

実際原価

本社 工場管理

SAPシステム活用・サポート

原価計算精度の向上

経営の効率化

課題の見える化

標準原価

● IoTの実用化：Smart factory化の実現

第一段階

電力量管理を実施し
原価低減につなげる

第二段階

生産計画 / 出来高の
クラウド管理によるスマート化

- 現在の開発センタは既存事業向けの開発が中心
- ポートフォリオの拡大には開発の強化 = 新しい開発拠点が必要

既存拠点を包括する
新たな開発拠点
を設置



横浜開発センタ



佐賀事業所



横須賀メディアラボ



既存
分野



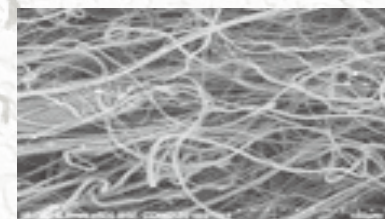
建機油圧フィルタ



産業/プロセスフィルタ

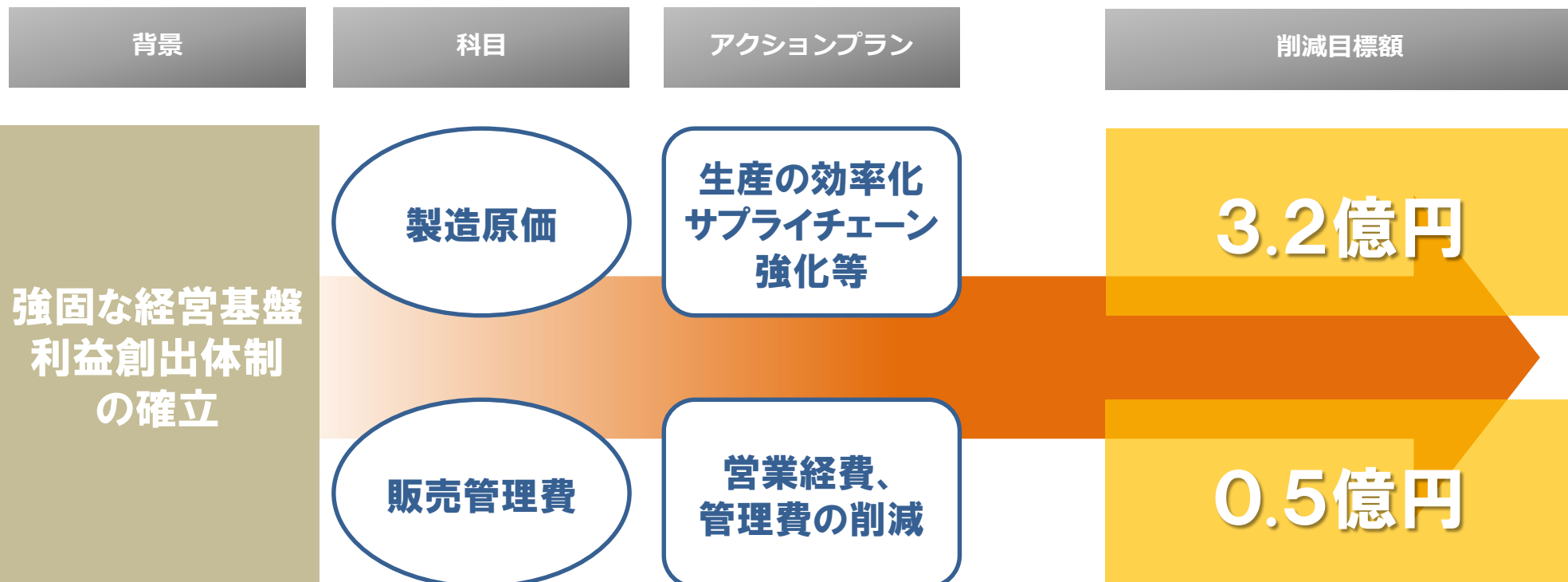


新たな
分野



ナノファイバー

- 生産技術・管理・システムの総合的な改善を実施し、利益体制の強化を図る



売上拡大に向けての取り組み

次世代モデルへの
搭載を見据えた
提案型営業の深耕

当社の中期的な方針

事業ポートフォリオの
拡大と筋肉質な
企業体質への進化



参考資料

セグメント と KPI

- 建機用フィルタは「**ライン品**」と「**補給品**」にわかれる
- ライン品は新車搭載用のフィルタ。重要指標は「**新車需要台数**」
- 補給品は交換部品用のフィルタ。重要指標は「**稼働台数**」×「**稼働時間**」

販売形態 地域別動向 コスト削減

- **販売形態**
建機用フィルタの売上は、建機メーカーへの直接販売。エンドユーザーへの直販は基本的に行っていない
- **地域別動向**
地域別売上高は参考値。当社請求書送付先基準のため、実際の地域別市場動向と異なる
- **PAC18 (Promptly Activated Cost reduction 2018)**
全社的なコスト削減プロジェクト

用語	計算式
MAVY's	ROIC - WACC
ROIC	NOPAT ÷ 投下資本
投下資本利益率	(経常利益+支払利息) ÷ 投下資本
運転資本回転率	売上高 ÷ (売上債権+棚卸資産-仕入債務)
固定資産回転率	売上高 ÷ 固定資産
売上債権回転率	売上高 ÷ 売上債権
棚卸資産回転率	売上高 ÷ 棚卸資産
仕入債務回転率	売上原価 ÷ 仕入債務
有形固定資産回転率	売上高 ÷ 有形固定資産
無形固定資産回転率	売上高 ÷ 無形固定資産

※貸借対照表項目について期首期末平均で計算しております。

ご清聴ありがとうございました



この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります

この資料に関するお問い合わせは ヤマシンフィルタ株式会社 経営企画室まで

TEL 045-680-1680

E-mail ir@yamashin-filter.co.jp